

授業科目名 (サブタイトル(副題))	プレゼンテーション演習Ⅱ		
担当者	福井 愛美		
[アクティブラーニング授業]			
PBL(課題解決型)	○	反転授業	
ディスカッション・ディベート	○	グループワーク	○
プレゼンテーション	○	実習、フィールドワーク	
その他			
<p>[到達目標]</p> <p>① グループディスカッションができるようになる。 ② パワーポイントを使っての資料作成、操作ができるようになる。 ③ 自信をもって5分間のプレゼンテーションができるようになる。 ④ 学んだことを就職活動や実社会で活用することができる。</p> <p>[授業概要]</p> <p>放送局などマスコミでのインタビューやレポーター、MCなどの幅広い実務経験を活かして、プレゼンテーションの重要性や話し方・表現力に関連する内容の指導を行います。</p> <p>プレゼンテーション演習Ⅰで学んだ口頭表現・身体表現によるプレゼンテーション技術をより向上させるために、具体的な事例を取り入れたグループワークを中心に授業を進めます。 前半は自分のセールスポイントを知り、就職活動にも生かせるよう、自己PRや面接時での表現法を、後半は企業内での身近な事例を取り上げ、プレゼンテーションの応用力を養います。</p> <p>1. 「プレゼンテーション演習Ⅰ」を踏まえて「プレゼンテーション演習Ⅱ」に進みますので「Ⅰ」を先に受講してください。テキストも、引き続き同じものを使います。 2. 「プレゼンテーション実務士」資格の必修科目です。</p> <p>[準備学修(予習・復習)の内容・時間]</p> <p>国内外のニュースや、テレビ番組を見て、プレゼンテーション場面でキャスターがどのように表現しているか、またどのようなツールを使っているか、研究しておいてください。 授業内で出された課題は、指定された時間に提出できるよう自主的に学習し、提出期限を守ってください。 各回の講義についての予習・復習を行うこと(各回、予習・復習合わせて1時間程度)。</p> <p>[授業計画]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プレゼンテーションの基礎…「演習Ⅰ」のポイントの確認と復習 2. 就職活動に活かすプレゼンテーション1…自分のセールスポイントを知る 3. 就職活動に活かすプレゼンテーション2…自分プレゼンの作成と発表 4. 企業内でのプレゼンテーション1…社会人としての話し方 5. 企業内でのプレゼンテーション2…ミーティングと会議 6. QC手法としてのプレゼンテーション…KJ法 7. 説得のプレゼンテーション…ピラミッドストラクチャー 8. ポスターセッション1…ポスター作成 9. ポスターセッション2…発表と振り返り 10. セールストークとプレゼンテーション 11. 企画提案のためのプレゼンテーション1…企画会議 12. 企画提案のためのプレゼンテーション2…視覚資料作成 13. プレゼンテーション発表と振り返り <p>[成績評価方法]</p> <p>プレゼンテーション発表(20%)、授業内での課題(20%)、小テスト(60%)で評価します。</p> <p>[課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法]</p> <p>レポートは後日添削をして返却します。 プレゼンテーション発表はその都度、講評します。 課題はその場で解答解説を行います。</p> <p>[オフィスアワー(質問等の受付方法)]</p> <p>詳細は、KISSシステムにて確認して下さい。</p> <p>[メールアドレス]</p> <p>afukui@kwjc.kobe-wu.ac.jp メールには学籍番号、氏名、授業名、質問内容を必ず記載してください。</p>			

授業科目名 (副題)	プレゼンテーション演習Ⅱ
担当者	福井 愛美
<p>[この授業と関連する学科のディプロマ・ポリシー(DP)]</p> <p>【総生2-2】現代社会の課題発見能力と課題解決能力及び実践力を有している。 成績評価方法: 授業内での課題や小テストで評価します。</p> <p>【総生2-3】社会に貢献できる豊かな表現力やコミュニケーション力を有している。 成績評価方法: プレゼンテーション発表で評価します。</p> <p>【総生3-1】実現可能なキャリアプランに向かって資格取得に資する力を有している。 成績評価方法: 授業内での課題や小テストで評価します。</p> <p>[テキスト(ISBN)] 『プレゼンテーション演習』 著者名:伊藤宏他 出版社:樹村房 (978-4-88367-213-4)</p> <p>[参考文献(ISBN)] 日経BP社</p>	